

21世紀の日本のかたち（140）

私と新宿、新宿区都市計画審議会の40年



戸沼幸市

〈(一財)日本開発構想研究所 顧問〉

1. 第215回新宿区都市計画審議会

今年、2023年6月23日に行われた第215回新宿区都市計画審議会は、私にとって最後の審議会となりました。場所は新宿区役所5階の大会議室、午後2時から1時間ほどでした。議題は一件、「日程第一、審議案件議案388号、新宿まちづくり長期計画、戦略プラン（改定案）について」でした。

この3年間は新型コロナウイルス感染対策のため、委員も区職員も「マスク」を着けての審議でした。審議案件は委員全員の賛成を得て審議会は終了しました。

この日、新宿区の事務局は、この機会に私に何か挨拶をするようにと30分ほどの時間を用意してくれ、私として、「私の新宿・私と新宿都市計画の40年」を振り返って、思いつくままに話をしたことでした。

2. 私の新宿、そして「新宿学」—新宿の「歴史」と「未来図」を探求する

18歳の春、私は新宿に来た。新宿は私にとっての青春の門であり、また大学であった。

「高田馬場駅で降りると、駅前に黒い学生服の行列が見えた。大学へのスクールバスに乗る学生たちの列だった」とは、同時期、九

州から早稲田大学の文学部に入った五木寛之の『青春の門・自立編』の一節である。私は昭和28（1953）年に、北は北海道・函館から早稲田の理工学部に入って、新宿に住み着くことになった。当時早稲田には全国から若い学生たちが集ってきていた。「俺は人間たちとつき合いたいのだ……。世の中のしくみを眺め、自分がどう生きてゆけばいいのかを求めるためにやってきたのだ」といった気分であった。ここは、多くの人に出会い、人間について、まちについて、多くのことを学ぶことができる人生劇場であった。

その点で、入った大学が新宿にあったというのは、私にとって決定的なことであった。

二階吹き抜けのオシャレな風月堂、名曲喫茶茶園など、喫茶店が方々にあり、アメリカのジャズやヨーロッパのクラシック音楽が流れていた。“^{ぬけべんてん}抜弁天”のある余丁町の賄い下宿に四年間住んだ。下宿から早稲田のキャンパスへは若松町の内閣統計局、戸山町の国立第一病院脇、穴八幡、馬場下と歩いて通った。下宿から新宿の繁華街も近かった。戦後十年も経っていないので方々に焼け跡が残っていた。それでも新宿駅周辺は、東口にはハイカラな店が並んでいた。高野フルーツパーラー、

インドカリーの中村屋、洋書がずらりと並んだ紀伊國屋書店があり、これが新宿かと感じ入った。当時の紀伊國屋書店は、木造二階の瀟洒な建物で、知的な都会の雰囲気を持っていた。たくさんの雑誌類や文学書、専門書に並んで、地方の本屋では見たこともない、英語、フランス語、ドイツ語などの本が山積みされていた。これが都会の本屋、東京の書店かと、驚きと嬉しさで、何か自分が世界につながっている新しい場面、場所に居るという気分になったことを覚えている。

デパートの大きいのにも驚いた。三越、伊勢丹といった百貨店は函館にはなかった。売っている品物もハイカラで、東京や、その向こうにひろがるアメリカやヨーロッパの風が吹いて来ているのを感じた。これが都会の感覚かと思った。親元を離れ、ひとり東京に暮らす自由の感覚とも重なった。

昭和28～32（1953～57）年頃の新宿は、戦後の焼け跡、傷跡があちこちにあり、新宿駅周辺には闇市風の屋台もあり、いまだ混沌としていたが、戦後再建に向かって新しい勢いを実感させられた。新宿歌舞伎町にコマ劇場がオープンし、都会の新しい盛り場の形が出来つつあった。

映画をよく見た。満員の武蔵野館や日活名画座ではよく立ち見した。私と同世代の早稲田の学生で後年、ジャーナリストや作家、政治家になった人たちは少なくないが、「俺は学校には行かないで映画や芝居を見たり、喫茶店でだべったり、赤線に通ったりして過ごした」とうそぶいている。この言い方には照れ隠しもあろうが、学校の教室の板書の授業では得られない「生」の情報が、戦後の新しい芽吹きを感じさせる新宿にあったことはたしかである。寺山修司の『書を捨てよ、町へ

出よう』というわけでもあったろう。彼も私の生まれた青森出身であった。青森（人）は何故か新宿（人）に似たところがある。

そして赤線、青線である。新宿二丁目の赤線街の店構えには独特なデザインがあった。玄関の丸柱や窓周りには色とりどりのきらきらしたタイルが貼ってあった。「おねえさん方が、お風呂のタイルがきれいだからこれを表に出しましょうよ、と言ってデザインしたのだ」とは、早稲田で私が習った高名な建築家・吉坂隆正先生の講義であった。売春防止法が施行適用されたのは昭和33（1958）年4月1日であった。その夜、赤い灯の消えるのを惜しんで皆で見学に出かけたものだった。これを境に、盛り場としての新宿は大きく変わるようになった。

新宿は学生のまち、特に早稲田のまちであった。野球の早慶戦の夜、学生は新宿で大騒ぎをしたが、まちの人も、早稲田の学生を大目に見てくれた。昭和35（1960）年の安保闘争、昭和42～43（1967～68）年の国際反戦デーに全学連の行った闘争は新宿が舞台となり、ここに学生はいわゆる解放区をつくり出した。昭和43年、ベトナム戦争反対の新宿騒乱事件の際、西口広場の群衆が警察機動隊に追いまくられた時、東口からゴールデン街に逃げ込めば捕まえられなかった。追撃の手を逃れられたのは、東西を分断する鉄道線のバリアによるものであったとは一つの新宿伝説である。

半世紀以上も新宿にいるといろいろな知人、友人ができる。いろいろな人とすれ違う。そして新宿体験の中でいろいろな事が思い返せるのである。永年、このまちの大学で働き、隣り合わせの夜の盛り場で学生たちや友人、時に見知らぬ人と飲んで騒いで、定年になり、ふと立ち止まってまちの鏡に映る白秋の我が

姿を見た時に、「俺は一体何者だったか」と自問したことであった。

新宿に、青春の門から入り、朱夏の時を過ごし、今、玄冬に向かう私自身の白秋の峠から新宿のまちの風景を眺めつつ、自分史を重ねて「新宿について、新宿の場所の力について考えてみたい」というのが「新宿学」を始

めた私自身の動機であった。そしてまた、永年多くの都市・地域計画に関与してきた私の立場から、都市・地域計画のアプローチ、方法論を「新宿」を対象にして典型的に指示してみたいという意図がこれに重なっている。

出典：「新宿学」戸沼幸市 編著、紀伊國屋書店、2013年から抜粋

図1 新宿区の地形



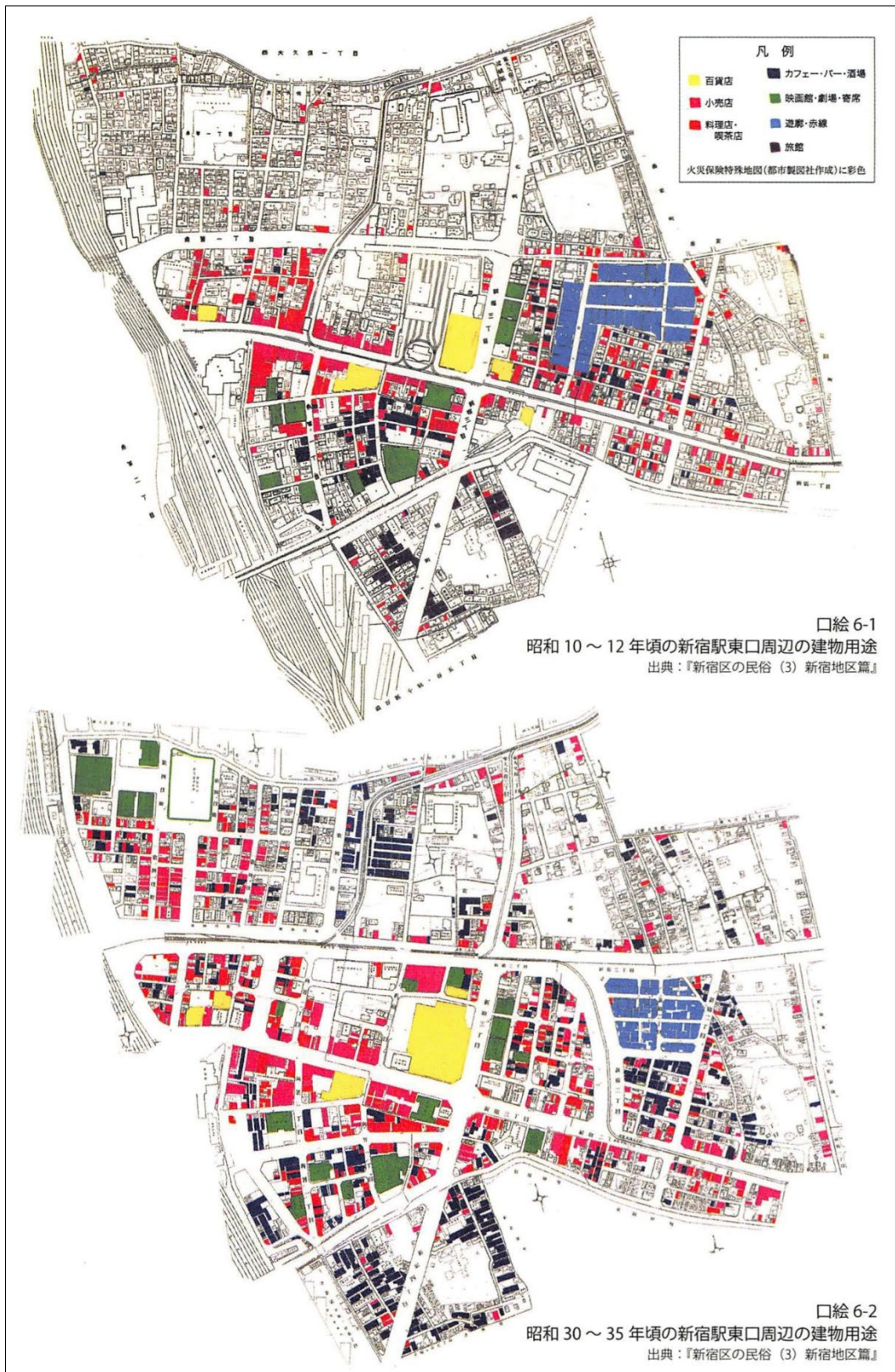
出典：「新宿学」戸沼幸市編著

図2 東京の発展と新宿



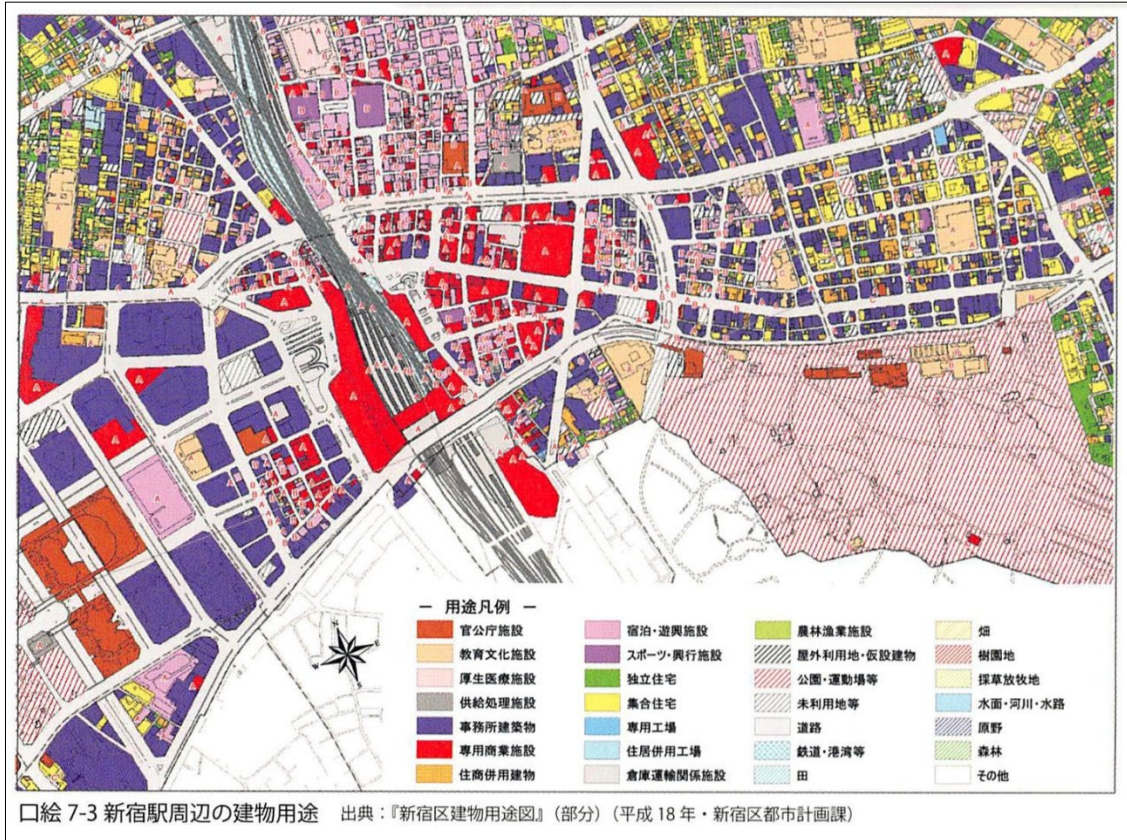
出典：「新宿学」戸沼幸市編著

図3 新宿駅東口周辺の建物用途
上：1935～37年、下：1955～60年



出典：「新宿学」戸沼幸市編著

図4 新宿駅周辺の建物用途 2006年



出典：「新宿学」戸沼幸市編著

新宿区の年表

昭和22 (1947)

四谷・牛込・淀橋3区が統合され、新宿区誕生。初代区長 岡田昇三氏就任

昭和25 (1950)

区役所を歌舞伎町に置く

昭和43 (1968)

新宿区長に山本克忠氏選任

平成3 (1991)

東京都新庁舎完成・移転。新宿区長に小野田隆氏選任

平成5 (1993)

戸沼幸市、都市計画審議会会長に選出

平成7 (1995)

1月17日、阪神・淡路大震災

平成14 (2002)

新宿区長に中山弘子氏選出

平成19 (2007)

新宿区都市マスタープラン策定

平成23 (2011)

3月11日、東日本大震災

平成26 (2004)

新宿区長に吉住健一氏選任

平成29 (2017)

新宿区長期計画策定、都市マスタープラン改定

令和3 (2021)

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種開始

令和5 (2023)

新宿区まちづくり長期計画「まちづくり戦略プラン」改定案について審議

3. 私と新宿区都市計画審議会の40年

3-1. 新宿区都市マスタープラン

新宿区では新宿基本構想を受けて、新宿区の都市計画の基本方針「新宿区都市マスタープラン」を平成19（2007）年12月に策定しました。

中山弘子区長、平成14～26（2002～14）年の時代です。私もこの作業には新宿区都市計画審議会会長として参画しました。

中山弘子前区長には、新宿区都市マスタープランの作業以外にも「歌舞伎町ルネッサンス」協議会への参加を求められ、長く意見交換をしました。また、私が主催していた早稲田大学エクステンションセンターの「新宿学」講座にも、講師として何度も講義をして頂きました。また、新宿東口の商店街の方々とやっていた新宿研究会にも参加してくれました。中山区長時代、新宿駅東西自由通路が実現したことも記憶に残ります。

以下は新宿区都市マスタープランの位置づけ、枠組み、めざす都市の骨格です。

3-2. 新宿区まちづくり、長期計画、都市マスタープラン改定

平成26（2014）年、新宿区では中山弘子区長の後、吉住健一区長時代に入り、都市マスタープランの改定が行われました。この改定作業には私も参加しましたが、新宿区は広域的な広がりの中、一段と国際色を強めていくことを想定し、“国際都市Shinjuku”を創っています。

「新宿区まちづくり長期計画-都市マスタープラン」平成27（2017）年12月、については「21世紀の日本のかたち（106）、地域学（6）国際都市新宿の未来図」に紹介しております。

新宿区では、東京2020オリンピック・パラリンピックの後、時代の大きな波動を受け止めるべく、都市マスタープランで掲げる“暮らしと賑わいの交流創造都市”の実現に向けた取り組みを行っています。

区民、事業者、都・行政が連携して進める重点的取り組みを平成29（2017）年12月「新宿まちづくり長期計画-まちづくり戦略プラン」としてまとめています。

3-3. 新宿区まちづくり長期計画-まちづくり戦略プラン（改定案）

令和5（2023）年6月

今後のスケジュール

令和5年7月改定、8月施行

1 重点課題の設定

重点課題1 「新宿の高度防災都市化と安全安心の強化」

重点課題2 「賑わい都市・新宿の創造」

2 重点課題と戦略

重点課題1 戦略a 建物の安全安心の強化

戦略b 地域の防災性の強化

戦略c 防災体制の強化

重点課題2 戦略d 国際観光都市の推進

戦略e 愛着と誇りをもてるまちの発展

戦略f 持続的に発展する都市の推進

新宿区まちづくり長期計画-まちづくり戦略プラン（改定案）については、21世紀の日本（137）に報告しております。

参考資料

- R.48 地域学 (その3) 新宿学 2011.10.15
- R.61 地域学 (その4) 新宿学-新宿の歴史と未来図を
探求する 2013.4.15
- R.106 地域学 (その6) 国際都市・新宿の未来図
2018.1.25
- R.108 地域学 (その7) 新宿歌舞伎町ルネッサンス、
都市の盛り場論 2018.5.10
- R.137 コロナは収束するか、コロナ禍を考慮した新宿
区長期計画「まちづくり戦略プラン」の改定に
ついて 2023.1.31
- R.140 私と新宿-新宿区都市計画審議会の40年
2023.7.23

私と新宿区都市計画審議会

- 昭和50 (1975) 都市計画審議会初会合 (会長 大庭
常良)
- 昭和58 (1983) ~ 委員 (会長 大庭常良)
- 昭和60 (1985) ~ 会長代理 (会長 大庭常良)
- 平成5 (1993) ~ 会長 (会長代理 中川義英)
- 令和5 (2023) 会長 満期退任。6月23日

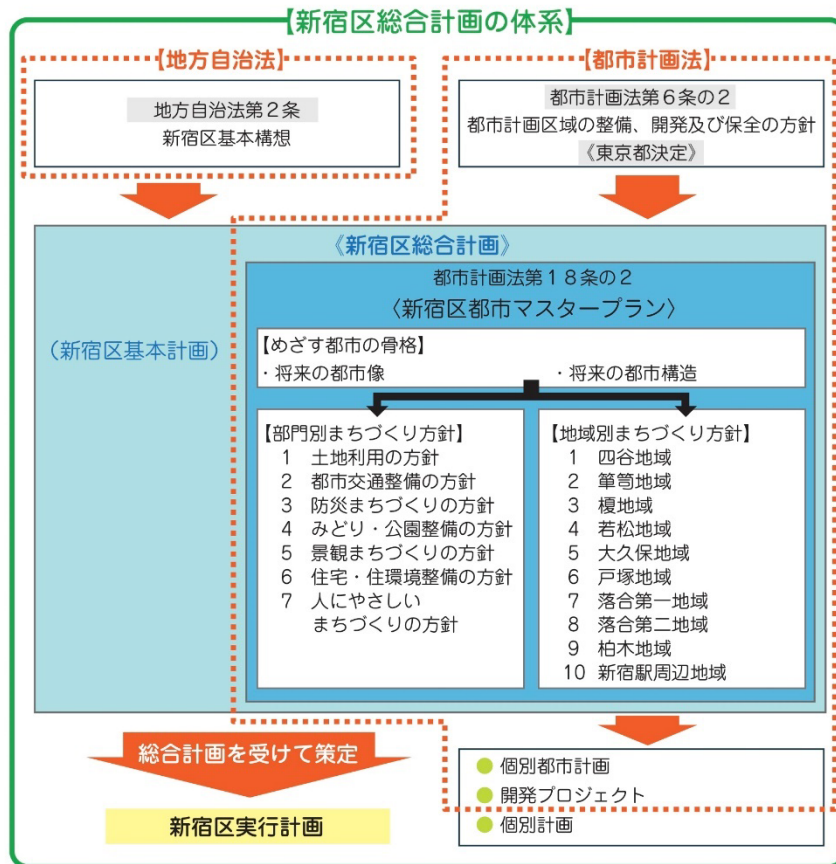
新宿区の人口 (令和5年6月1日現在)

単位: 人

| | 男 | 女 | 合計 | |
|----------|---------|---------|---------|---------|
| 住民基本台帳人口 | 174,321 | 173,305 | 347,626 | |
| 内訳 | 日本人 | 152,988 | 153,568 | 306,556 |
| | 外国人 | 21,333 | 19,737 | 41,070 |

新宿区の面積 18.22km²

図5 新宿総合計画の体系



出典: 「新宿区都市マスタープラン」新宿区、平成19 (2007) 年12月

図6 新宿区基本構想

1-3 新宿区基本構想

新宿区基本構想では、3つ基本理念とともに、おおむね20年後の新宿区の「めざすまちの姿」として、

『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

を掲げています。また、「めざすまちの姿」を実現するため、六つの「まちづくりの基本目標」を定めています。

新宿区基本構想

【基本理念】

- 区民が主役の自治を創ります
- 一人ひとりを人として大切にする社会を築きます
- 次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします

【めざすまちの姿】

『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

【まちづくりの基本目標】

- 基本目標Ⅰ 区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち
- 基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
- 基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち
- 基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち
- 基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち
- 基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

出典：「新宿区都市マスタープラン」新宿区、平成19（2007）年12月

注：新宿基本構想—新宿区総合計画の体系の地方自治法の中で位置づけられている

新宿区都市マスタープラン 目次

- 第1章 新宿区都市マスタープランの枠組み (略)
- 第2章 新宿区の概況 (略)
- 第3章 めざす都市の骨格
- 第4章 まちづくり方針 (略)
- 第5章 地域別まちづくり方針 (略)

図7 めざす都市の骨格

第3章 めざす都市の骨格

3-1 将来の都市像

基本構想では、おおむね20年後の平成37(2025)年を想定した「めざすまちの姿」を「**新宿力**」で創造する、**やすらぎとにぎわいのまち**としています。

総合計画は、都市マスタープランの性格をあわせもつことから、「めざすまちの姿」の実現に向けた、都市基盤等の主にハード整備に関するめざす将来の都市像として、

《暮らしと賑わいの交流創造都市》

を描き、

- 「暮らしと賑わいが調和し、住む人、働く人や訪れる人々が心地よく感じることができる、環境に配慮したみどり豊かな快適で潤いのあるまち」
- 「新宿に住みたいと願う人が安全に安心して生活でき、住み続けられるまち」
- 「誰にも愛される魅力あふれる文化を創造するまち」
- 「新宿を訪れる人々によって生み出される活力が住む人々の利益にも結びつくまち」

の実現をめざします。

3-2 めざす都市の骨格の考え方

将来の都市像を実現するため、将来の都市機能や都市施設*の基本的な都市の骨格の考え方を、次のとおり示します。

- (1) **新宿に蓄積されてきた多様性を活かしていく**
- (2) **まちの記憶を活かし、次世代に引き継いでいく**

区の骨格を形成する水辺とみどりの充実を図ります。

新宿区の外周を囲む河川や緑地、新宿御苑などのまとまったみどりを「水とみどりの環(わ)」、**「七つの都市の森」**と位置づけ、水辺とみどりの充実を図ります。

- (3) **地域の個性を活かし、区民が誇りと愛着をもてる新宿を創っていく**

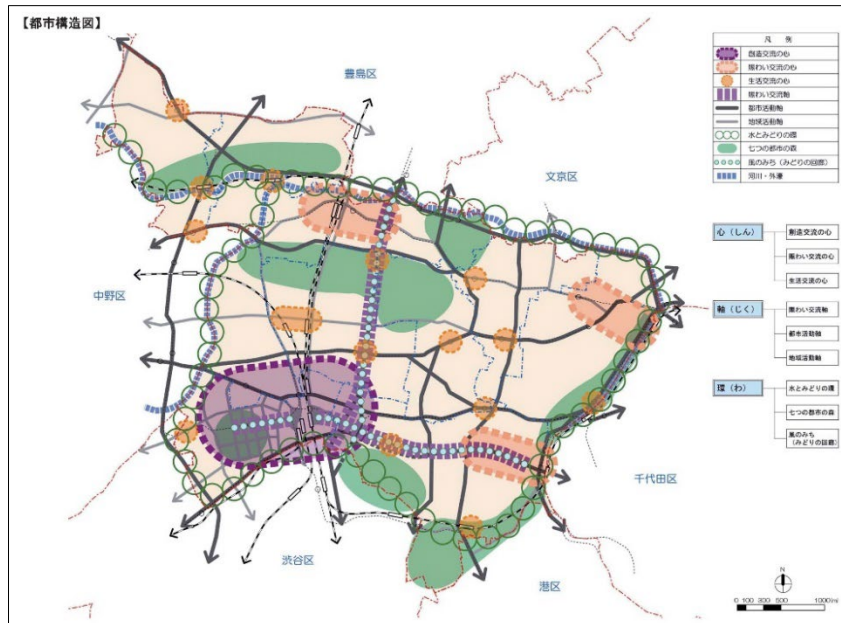
3-3 将来の都市構造

将来的な都市機能や都市施設*等の基本的な骨格を、将来の都市構造として示します。

将来の都市構造には、**賑わいと交流を先導する地区を「心(しん)」**、**高い都市活動を支える幹線道路やその沿道を「軸(じく)」**、**都市に潤いを与える水辺やみどりのつながりを「環(わ)」**と位置づけます。

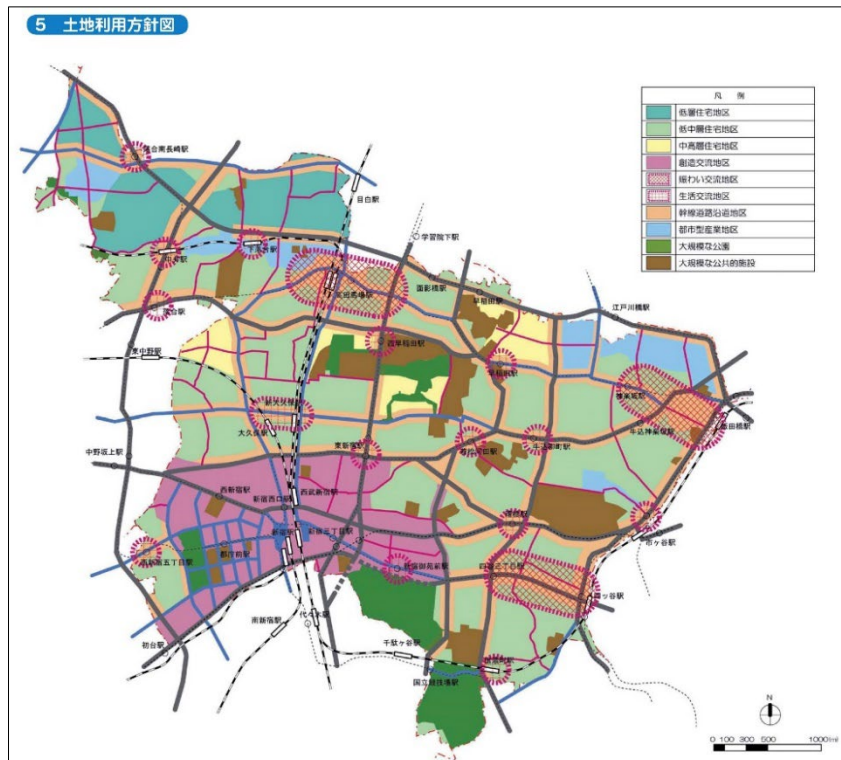
出典：「新宿区都市マスタープラン」新宿区、平成19(2007)年12月

図8 都市構造図



出典：「新宿区都市マスタープラン」新宿区、平成19（2007）年12月

図9 土地利用方針図



出典：「新宿区都市マスタープラン」新宿区、平成19（2007）年12月

図10 市街地整備方針図

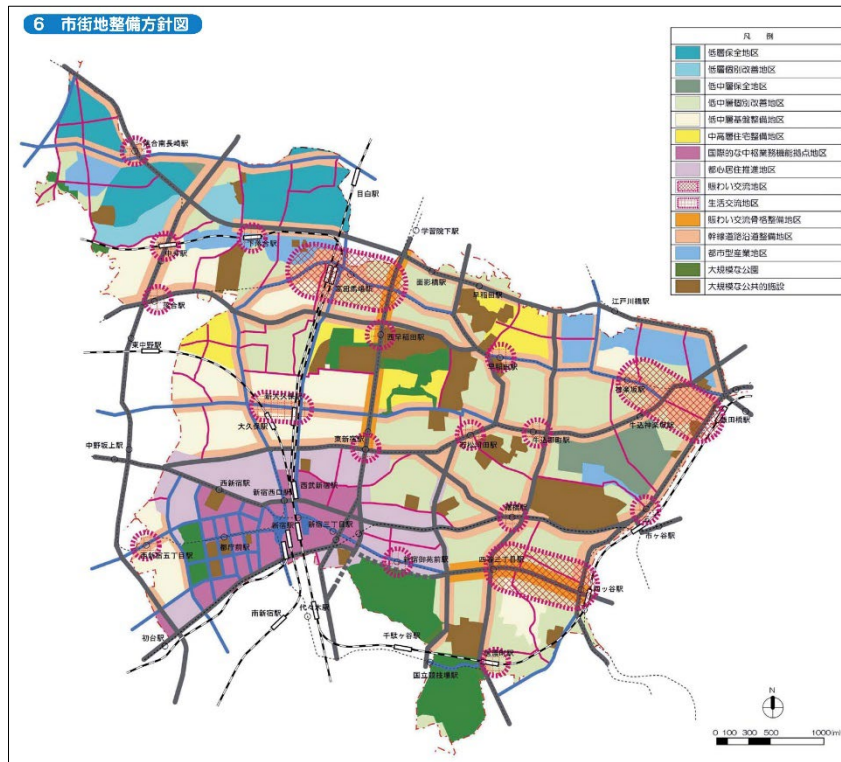


図11 新宿区の広域的な位置づけ

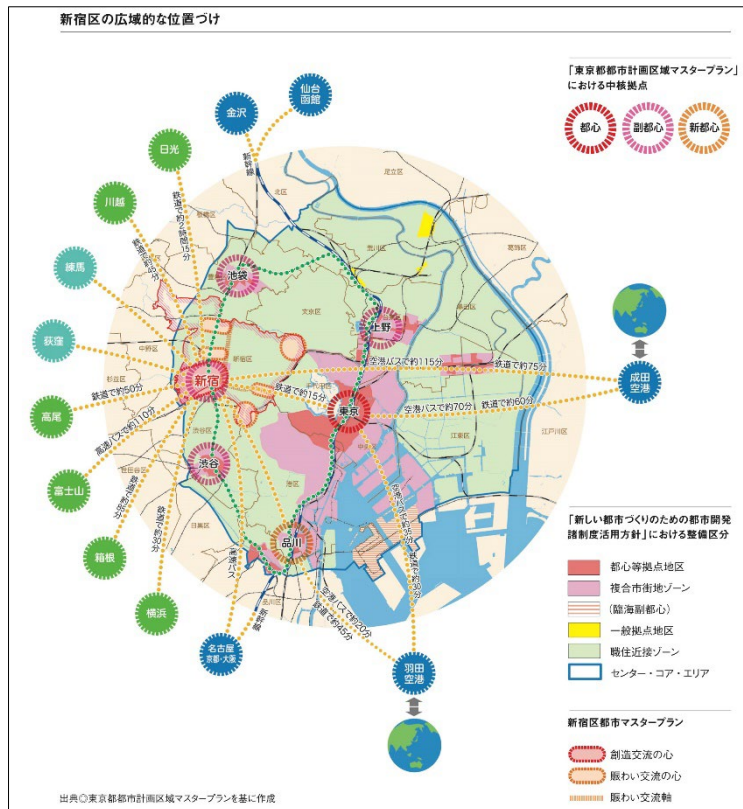


図12 課題別戦略

課題別戦略

課題別戦略では、新宿区全域の「重点課題」を2つ設定し、課題解決に向けた重点的な取組みを「戦略」として示します。また、「戦略」には、推進方策として、まちづくり主体となる区民・事業者・行政の役割を示し、三者が協力・連携してまちづくりを進めていきます。

1 | 重点課題の設定

- ・都市マスタープランの「めざす都市の骨格の考え方」のうち、社会経済情勢やまちの変化を踏まえ、新たに追加した2つの考え方にに基づき、「重点課題」を設定します。

都市マスタープラン「めざす都市の骨格の考え方」

- ①新宿に蓄積されてきた多様性を活かしていく
- ②まちの記憶を活かし、次世代に引き継いでいく
- ③地域の個性を活かし、区民が誇りと愛着をもてる新宿を創っていく
- ④災害に強い高度な防災機能を備えた新宿を創っていく
- ⑤世界とつながる国際都市“Shinjuku”を創っていく

新たに追加した考え方

重点課題1

『新宿の高度防災都市化と安全安心の強化』

重点課題2

『賑わい都市・新宿の創造』

2 | 重点課題と戦略

- ・重点課題ごとに、それぞれ3つの「戦略」を示します。

重点課題 1

『新宿の高度防災都市化と安全安心の強化』

近年、日本各地で多くの被害をもたらしている地震・台風などの自然災害を受け、今後予想される首都直下地震や集中豪雨などに対応するため、3つの戦略を示します。

戦略 a 建物の安全安心の強化

戦略 b 地域の防災性の強化

戦略 c 防災体制の強化

重点課題 2

『賑わい都市・新宿の創造』

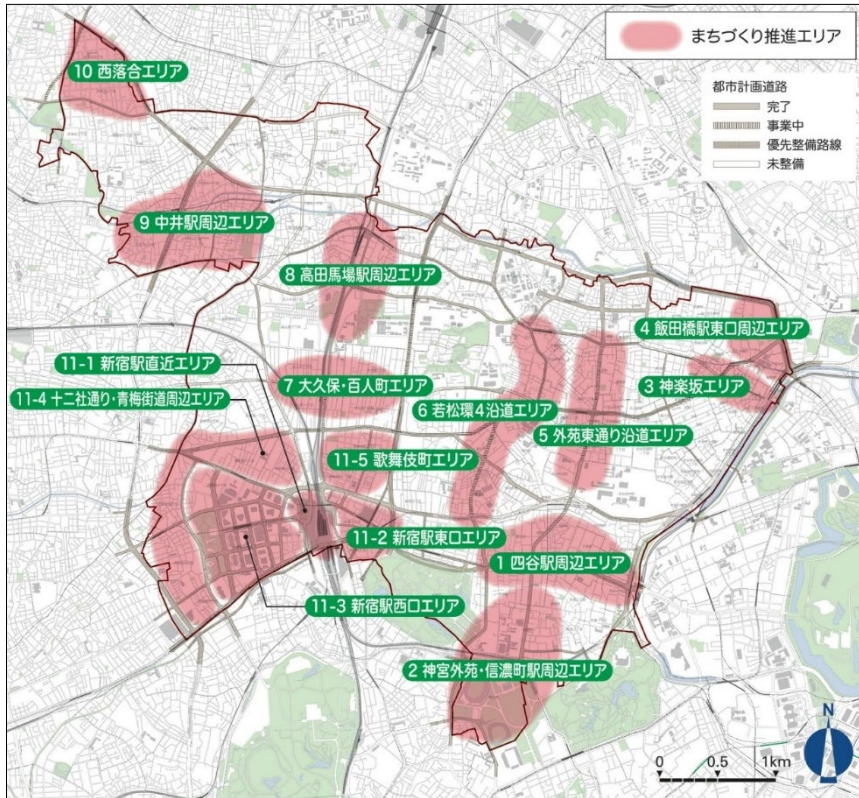
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とし、新宿区の魅力をさらに高め、国際都市として世界に発信していくため、3つの戦略を示します。

戦略 d 国際観光都市の推進

戦略 e 愛着と誇りをもてるまちの発展

戦略 f 持続的に発展する都市の推進

図13 まちづくり推進エリアの位置図



出典：「新宿区まちづくり長期計画 まちづくり戦略プラン」新宿区、平成29（2017）年12月

今年、2023年6月23日の第215回新宿区都市計画審議会は、私にとって最後の会議になりました。この日、審議会の始まる前、吉住健一区长より感謝状を頂き有り難いことでした。

新宿区都市計画審議会は新しい会長の下、新宿の未来を適確に掴んで前進してくれると

思っています。私として多様性、猥雑性、国際性を含んだ新宿のこれからを見続けていきたいと思っております。

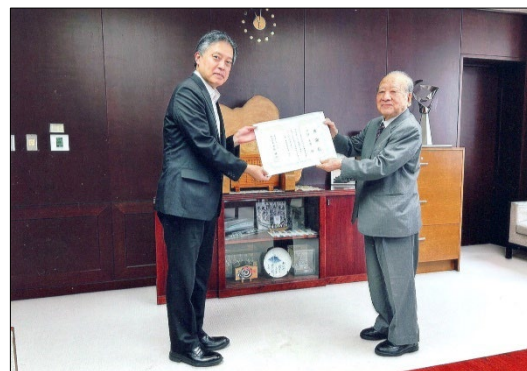
2023.07.23

写真1 第215回新宿区都市計画審議会



出典：新宿区事務局撮影、2023.6.23

写真2 住吉健一区长より感謝状を頂く



出典：新宿区事務局撮影、2023.6.23